



# 吉川小だより 夏休み号

京都府亀岡市立吉川小学校

令和8年7月17日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



## 食べずらい

突然ですが、私はナスが苦手です。子どもの頃から苦手でした。「おいしいのに」と好きな人から言われますが、何と言われようと苦手なのです。

夏から秋にかけて、給食にはナスがよく登場します。担任をしていた頃、学級の子どもたちに対して、「好き嫌いをせず、何でも食べるようにしよう」と指導していたために残すこともできず、ナスが苦手なことが子どもたちに知られてしまったからは、子どもたちがおもしろがってお皿いっぱい山盛りによそったナスを残さず食べるのに苦労していました。

さて、最近学校では給食の残菜量が増えてきています。暑さのために子どもたちの食欲が低下しているのかなと思い、給食の様子を見に行きました。

もうすぐ給食終了の時間なのに、お皿にはまだたくさんのごはんやおかずが残っている子どもに、話しかけてみました。

「このおかず苦手？」 「うん、きらい」

「食べたことあるの？」 「食べたこと無い」

何人かの子どもに聞いてみると、「食べたこと無い」と答える子どもが意外と多いことに気づきました。いわゆる「食べずらい」です。「食べたらおいしいかも」「一口でも食べてみたら」と勧めてみるのですが、なかなかお箸は動きません。そのうち時間になって、そのおかずは残菜となっていきました。

ナスが苦手な私ですから、その子の気持ちを少しは理解できます。でも、チャレンジしてみしてほしいな、と思うのです。苦手ながらも給食のナスを食べ続けてきた私は、以前よりナスを味わえるようになってきました。今でも好きではないですが。

食べ物の好き嫌いの他にも、「食べずらい」のように、チャレンジせずに初めからあきらめてしまったり、どうせ無理だからと決めつけてしまったりしていることはないでしょうか。「やってみたら、意外と・・・」という成功体験は、大人のみならずなら経験ありますよね。

このことは、人づきあいでもあてはまると思うのです。吉川小の子どもたちは、6年間気心の知れたメンバーで安心して過ごせる反面、中学校進学時には大きなギャップを迎えます。中学校で新たな友だちと楽しく有意義に過ごせるように、様々なタイプの人と関わってほしいと思います。

夏休みに、そんな体験ができるといいですね。

校長 谷口 浩之